

平成 28 年度 大阪桐蔭中学校・高等学校 学校評価

1. めざす学校像

- ・建学の精神「偉大なる平凡人たれ」と、桐蔭の教育方針「鼎立なりて碩量を育む」のもと、徳知体教育の充実を図ります。
- ・生徒一人一人が希望する進路、目標、自己実現を達成できる学校となります。
- ・高校 3 ヶ年それぞれのコースに応じた教育カリキュラム、また、設置するⅠ類・Ⅱ類・Ⅲ類のコース教育の特性を一層伸長させます。
- ・大阪桐蔭をして日本を代表する中等教育機関としての地位を確立します。

2. 中期的目標

1. 教学改革

- (1) 学習指導の改訂
- (2) 人格の形成をめざして
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 課外活動の活性化
- (5) 教育環境の充実

2. 進路指導の発展

- (1) 進学指導の充実
- (2) キャリア教育の充実

3. 人材育成

優秀な職員の確保と研修の促進

4. 施設設備の充実

5. 防災・安全対策

- (1) 防災対策の徹底
- (2) 安全対策の徹底

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 教 学 改 革	(1) 学習指導の改訂 ア. 教員指導力の向上への取り組み	研究授業・教員向け研修会の実施、教員向け外部研究会・研修への参加等による指導力向上。	電子黒板の活用による教育効果の共有、研究授業による強化指導力の向上に努める。	○
	イ. 特色のある指導カリキュラムを通じた教科教育力の向上	一貫生、高入生、類別に設定したカリキュラム、個別大学対応授業展開・習熟度別授業展開等の改革を通じての教育力向上。	到達度に応じた授業を展開し、「わかる授業」の実践により学習意欲の高揚に努める。	◎
	(2) 人格の形成をめざして ア. 課外活動を通じた人格教育の推進	クラブ活動やボランティア活動等を通じた人格教育の推進。	地域との連携を図り、清掃活動をはじめボランティア活動の実践による人格形成に努めている。	○
	イ. 個性を發揮させる情操教育の推進	宿泊研修、文化祭、音楽祭、芸術鑑賞、文化講演会等をはじめ学校教育すべてを通じての情操教育推進。	様々な活動を通じて、互いにコミュニケーションを深め、創意工夫を重ねながら個性を發揮し、個々が自身の存在をしっかりと自覚できるよう積極的に取り組んでいる。	◎
	ウ. 学校行事におけるグローバルズムへの取り組み	カナダ語学研修や留学生との交流行事の実施等による国際教育の推進。	現地での交流会では、英語をコミュニケーションツールとして操る努力がなされ、現地生徒と積極的に対話し、交流を深めている。	◎

	(3) 生徒指導の充実 ア. 挨拶・服装指導等によるマナー・躰教育の充実	挨拶・身嗜みや自転車マナーを含む通学マナーの指導徹底。	生徒指導部と生徒会が中心となり、挨拶運動や服装チェックを行う。 登下校指導を定期的に行い、通学マナーを徹底し、生徒の安全確保に努めている。	○
	イ. 学校生活全般における生徒指導の徹底	生徒指導の徹底を図り、生徒指導問題件数等の低減を図ります。	「いじめ」や「SNS使用」への意識調査・アンケートを行い、生徒指導上の問題を低減し、健全な学校生活を送れるよう努力している。	○
	(4) 課外活動の活性化 ア. III類活動実績向上	全国大会への出場と上位進出を果たすための、指導強化。 全国コンクールなどへの出場と金賞受賞に向けての指導強化。	硬式野球部、女子バスケットボール部、卓球部、ゴルフ部および吹奏楽部が、全国大会において上位入賞を果たしました。また、女子サッカー部、ラグビー部が全国大会に出場しました。	◎
	イ. 中学校・I II類のクラブ活動の推進	ボランティア活動を通じて国際交流を展開するインターアクトや、ロケット研究等多彩でユニークなクラブ活動の支援。	外部から指導者を招聘し、確かな技術を習得し、活発に活動できるように支援している。	○
	(5) 教育環境の充実 ア. 各種講座の実施	フォローアップ講座・レベルアップ講座・大学別対策講座・長期休暇期間における受験対策講座を実施し、学力向上を図ります。	「通塾の必要のない学校」「面倒見のよい学校」として、生徒個々の到達度・理解度に応じ、各種講座を開講し、学力の向上を図っている。	◎
	イ. 面談によるアドバイスの実施	年間計画に基づく面談を実施し、生徒のモチベーションアップと学力アップに寄与します。	定期考査・模試実施後、その結果に基づき学習方法・教科ポイントを指摘し、「高い目標」の維持と学習意欲の向上に努めている。	◎
	ウ. 自習室の整備	放課後・休日に生徒が集中して学習できる時間と空間を確保します。	家庭学習へのつなぎや学習リズムの維持のため、放課後、休日における自習室の開放を行っている。	◎
エ. 教育相談員による教育相談の活用	担任と教育相談員が連携するなど、教育相談員の活用を推進します。	3名のスクールカウンセラーを配置し、生徒・保護者の抱えている問題解決への支援を行っている。	◎	
2 進 路 指 導 の 発 展	(1) 進路指導部の充実	進路研修会等への参加を推進し、スキル向上に努めます。	「進路指導マネジメント講座」等の研修会に参加し、他校との情報交換により、スキルの向上に努めている。	○
	(2) キャリア教育の充実 ア. 進学指導実践プログラムの実施	生徒一人ひとりが自己実現を図ることができる実践プログラムを構築します。	進路適正検査・進路希望調査等を実施し、適切な進路指導を行っている。	○
	イ. 教育講演会・文化講演会の実施	キャリア教育における将来設計に寄与すべく、適切な講師による各種講演会を開催します。	学習合宿、保護者懇談会において生徒および保護者対象の教育講演会を実施した。	○
	ウ. 進学ガイダンスの実施	大学進学に備えた進路計画を描くことができるように、大学教員等によるガイダンスを実施します。	大学教員をはじめ教育職に携わる講師を招聘し、「学部・学科ガイダンス」「就職ガイダンス」を行っている。 また、宿泊研修を利用し、卒業生から在校生への体験談等の後援会を実施し、進学への意識の高揚を図っている。	◎

3 人 材 育 成	ア. リクルート広報の活用	学校イメージの向上を図りつつ、適切な時期に採用試験を複数回実施し、優秀な人材の確保に努めます。	教員採用説明会などを通じてリクルーティングを行い、筆記試験、模擬授業、面接による採用試験を複数回実施し、優秀な人材の確保に努めている。	○
	イ. 指導力向上の為の 新任教員研修会実施	校内・校外新任教員研修会への参加を促進し、指導力向上を図ります。	個人研究費などを活用し、外部の研修会に積極的に参加している。	◎
4 施 設 設 備 の 充 実	ア. 教室整備の推進	学則改定に必要な教室数・展開授業に備えた教室数の確保と、各教室における ICT 他 の整備等により、質と量の両面から快適な学習環境整備を行います。	中学校の全教室に電子黒板を設置し、学習効率を上げている。	◎
	イ. 学内 LAN の整備	職員室・事務室における LAN 環境を整備し、職員室の各教員にパソコン貸与を行い、情報伝達の効率化とペーパーレスを図るため、計画的に取り組みます。	情報セキュリティ上のリスク回避に向けて検討を重ねている。	○
5 防 災 ・ 安 全 対 策	(1) 防災対策の徹底 防災意識の向上	定期的に避難訓練を実施し、消防署から講評・指導を受け、意識の向上を図ります。また、防災備品の準備を進めるとともに平成 25 年度から確保した備蓄食料に新入生分を購入・追加します。	自衛消防組織表に基づき、消防署の協力指導を受け、定期的に訓練を行っている。	◎
	(2) 安全対策の徹底	通学時における安全対策の強化 教職員の立ち番指導の効果的な実施及び平成 25 年度導入の登下校時のメール配信システムへの登録拡大を図ります。	登下校時の生徒の安全確保、通学マナー向上のため立ち番指導を行っている。	◎